

市民が観光大使
～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～



Anniversary

MITAKA-City Tourism Association

みたか都市観光協会 10周年記念誌
2008-2018

みたか都市観光協会について

「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」

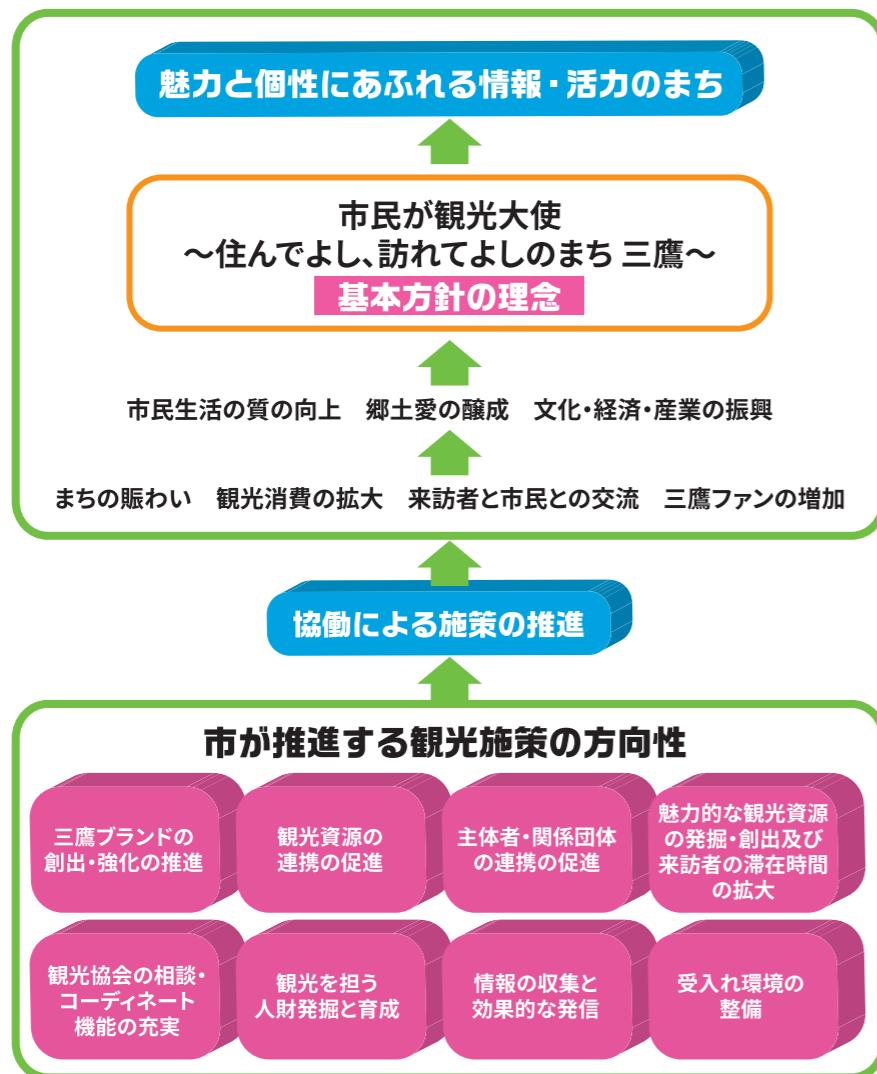
みたか都市観光協会は設立にあたり、「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち三鷹～」を、市の観光推進の基本理念として定めました。

この理念は、まずは「市民」の皆様に、自らも楽しみながら三鷹市の魅力を発見するとともに、魅力を創出していただき、その情報について実感を持って広く発信していただくことによって、市内外から今まで以上に多くの皆様に観光に訪れていただくことを目指すものです。市民の皆様と三鷹市に訪れる皆様の新たな交流が生まれされることで、市民生活の質の向上や市民の皆様と訪れる皆様の双方の満足度の向上、さらには地域の活性化が図られることを目指しています。

また、三鷹市には、都立井の頭恩賜公園、野川公園、玉川上水などの緑豊かな環境をはじめ、三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）や山本有三記念館等の文化施設、国際基督教大学や国立天文台等の学術施設、研究施設など、訪れる人を温かく迎える数多くの観光資源・地域資源を有しています。

こうした三鷹の「まちの魅力」や「観光資源」等の有効活用を図りながら、市民の皆様はもとより市外の皆様にも、三鷹のファンとなっていただくことで、人々の交流による賑わいのあるまちづくりの推進や地域産業の活性化をめざしています。

基本方針による観光施策の振興のイメージ



ごあいさつ

みたか都市観光協会は正会員、賛助会員及び市内の関係者の皆様の支援に支えられ、2018年8月20日にNPO法人化10周年を迎えるました。

この度、10年の歩みや取り組みを記念誌として上梓することができましたことにお礼申し上げるとともに、次の10年への礎とさせていただきたい思います。

当協会は「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」を理念として掲げ、発足して以来、多くの市民の皆様、商工会、三鷹市をはじめとした関連団体の協力を得ながら、微力ながら、「観光」というフレーズを切り口に、地域の活性化に携わってまいりました。来所者に様々な観光情報を提供する「観光案内」はもとより、「三鷹『通』養成講座」の開催、「観光ボランティアガイド」の支援、まちの逸品を普及する「TAKA-1(タカワ)事業」、映像を通じて三鷹の魅力を発信する「フィルムコミッショング事業」、駅前を中心とした様々なイベントを支援する「賑わい創出事業」、井の頭恩賜公園で毎年開催している音楽祭「三鷹の森フェスティバル」等を通じて、三鷹への理解と愛着が生まれることのお手伝いをさせていただきました。

さて、創立から10年が経過した今、私たちを取り巻く環境も少しずつ変化してまいりました。個人の趣向は多様化し、SNSなどでつながった人々が集まり、お互いに情報の受発信ができる世の中が当たり前になっています。また、これからラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックを控えております。私たちもこのような情勢を捉えつつ、新たな事業や新たな情報提供の方法など、観光振興の在り方について検討をしていかなければならぬと感じております。しかしながら、新しい事業を始めるにあたっては、当協会だけの力では及ばず、皆様方のお力添えが必要になってくると考えております。今後とも皆様方の温かいご理解と一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本記念誌にご祝辞や玉稿を賜りました皆様方に厚くお礼を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



金子 彰

NPO法人みたか都市観光協会
理事長

10周年記念誌 目次

みたか都市観光協会について	2
ごあいさつ	3
お祝いのメッセージ	4
三鷹の魅力を発信	7
みたか都市観光協会10年のあゆみ	8

みたか都市観光協会のおもな事業	10
三鷹「通」養成講座	10
三鷹の森フェスティバル	11
TAKA-1(タカワ) <みたかセレクト ONE>	12
井の頭公園検定	13
三鷹フィルムコミッショング	14
人財育成	15
連携事業	16
10年のあゆみを振りかえって	17

お祝いのメッセージ

都市観光を切り拓いて10周年、さらなる発展に期待

NPO法人みたか都市観光協会が設立10周年を迎えることを、心よりお慶び申し上げます。

節目の10周年を迎えて、金子彰理事長はじめ関係者の皆様は、本当に深い感慨があると拝察します。

三鷹市は、平成29(2017)年3月に市内の観光振興に向けた民学産公の協働のための指針を示した『三鷹市観光基本方針』を策定しました。この基本方針では、貴協会がこの10年間掲げ続けてきたテーマである「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち三鷹～」を、観光推進の基本理念として定め、具体的な取り組みにおいては、貴協会をはじめ多くの市民や関係団体の参加と協働のもと、市内外から訪れるあらゆる世代の人々が楽しめる多様な観光事業の創出を図っていくこととしています。

さて、これまでの10年間を振り返ると、貴協会の皆様は、観光案内所の運営、三鷹「通」養成講座の開催、まちの逸品をPRする「TAKA-1(タカワン)」事業の実施、映画やドラマのロケ地をあっ旋する「三鷹フィルムコミッショング」の運営など、幅広い事業を展開されてきました。そして、平成29(2017)年5月1日の「都立井の頭恩賜公園開園100年」に向けては、この5年間に6回にわたり『井の頭公園検定』を実施し、検定一級合格者有志の会「あか井の」による公園ガイド活動が始まることになりました。

今、私たちは「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」などの世界的イベントの開催を控えていますので、これらを契機に、貴協会の多様な活動を通して、これまで以上に市民や来街者が交流し、まちが賑わい、市の魅力が情報発信していくことを期待しています。

結びに、みたか都市観光協会の皆様がこれからも元気いっぱいにご活躍され、三鷹の魅力を発見し、つなぎ、新しい魅力の創出を進めながら、末永く発展されることをお祈りしています。



清原 慶子
三鷹市長

みたか都市観光協会設立10周年に寄せて

みたか都市観光協会の設立10周年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

設立して10年の月日が経過し、正に光陰矢のごとし、みたか都市観光協会設立時に多くの方々と協力して、設立まで様々な経過が、懐かしく思い出されます。

みたか都市観光協会は「民学産公」の協働のもと、市民が主役となり、三鷹市の様々な魅力を発見し、その魅力を観光資源として付加価値を創造するとともに、広域的なネットワークの形成と市内外へ情報を発信し、三鷹市の都市観光をはかり地域の活性化と発展に寄与することを目的として、平成19年4月2日設立されました。

三鷹商工会はそれに先立ち、平成14年から「観光振興事業委員会」を発足させ、「観光」をキーワードに商工会事業との連携を探り、観光マップ、観光ビデオの作成を行いました。そして、平成17年7月に三鷹市より委託を受けて、観光協会設立に向け「三鷹観光振興推進委員会」を設置し、今後の観光の方向性、展開方策について、平成18年3月に「三鷹市における観光振興への提言～市民が観光大使のまち 三鷹～」を三鷹市に提出し、観光協会設立を迎えた。

私は三鷹観光推進委員会に三鷹商工会の役員(理事)として、携わらせていただきましたが、従来の「観光」という範疇にとどまらない、新たな三鷹の魅力を発見し、光輝かせる(=観光)意味をこめて「都市観光」という言葉について、参加者各人が熱い議論を繰り広げた記憶が甦ります。

観光協会10年の歩みの中で、特筆すべき事業の一つとして、観光協会とまちづくり三鷹、そして三鷹商工会の三者が協働して実施している「TAKA-1」認定事業があります。「TAKA-1」認定事業は、平成24年東京都の国体開催を契機に「三鷹のお土産品」として、三鷹市内の魅力的な商品や逸品を広く内外に周知することを目的としたものです。今では、約40品目が認定され、太宰治桜桃忌の当日の販売イベントに代表される販売イベントを市内外で実施し、商品を通しての「三鷹の魅力」の発信を行っております。

来年2019年はラグビーワールドカップ開会式が、そして、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、「インバウンド」と三鷹に来訪する外国人を対象とした情報発信という新たなステージに突入します。「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち三鷹～」という理念の実現に向けて、今後とも三鷹市の観光振興に繋げられるよう、関係各位との協働の取り組みをすすめて参ります。

結びに、10年にわたる観光協会のご功績をご尽力を称え、様々なご協力に心より感謝を申し上げると共に、更なるみたか都市観光協会のご発展を祈念しております。



岩崎 守利
三鷹商工会長

お祝いのメッセージ



三鷹市民とジブリ美術館との懸け橋となって

みたか都市観光協会設立10周年に際し、心からお祝い申し上げます。

平成20年に設立されて以来、ジブリ美術館の「三鷹市・近隣市民チケット」の販売を行って頂いており、現在に至るまで多くの市民の方々にご利用を頂いております。

また、貴協会の主催事業であり、ジブリ美術館も共催という形で参加させて頂いている「三鷹の森フェスティバル」に於いては、貴協会の尽力のお陰で三鷹市民をはじめ多くの方々から愛される音楽フェスティバルとして成長しています。貴協会の活動は、ジブリ美術館にとって三鷹市民との大切な懸け橋なっており、これからも益々重要な存在になるものと思っております。

結びにこれから貴協会の益々のご発展とご健勝を祈念して、お祝いの言葉とさせて頂きます。

三鷹市と共に

みたか都市観光協会様、設立10周年誠におめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。

三鷹市様とは1999年FC東京の株主になっていただいて以来、ご支援・ご声援を賜っております。

三鷹市との過去10年を振り返りますとやはり思い出されるは我々がJ2リーグに降格した年、清原市長が激励のため小平練習場までお越しください、監督・選手たちに激励の言葉をかけていただいたことです。あの時どれだけ勇気づけられたか、感謝の気持ちで一杯です。お陰様でその年、J2リーグ優勝、翌年J1リーグ復帰を果たしました。

さて、近年ではFC東京のホームゲーム時に「三鷹市の日」を観光協会様と共に取組み、三鷹阿波踊り・市民招待・物産販売などを実施してまいりました。今後も新たな取組みを観光協会様と企画し、三鷹市のさらなる輝きのお手伝いができるべくと思っております。

みたか都市観光協会様の益々のご発展を祈念申し上げます。



安西 香月
三鷹の森ジブリ美術館 館長



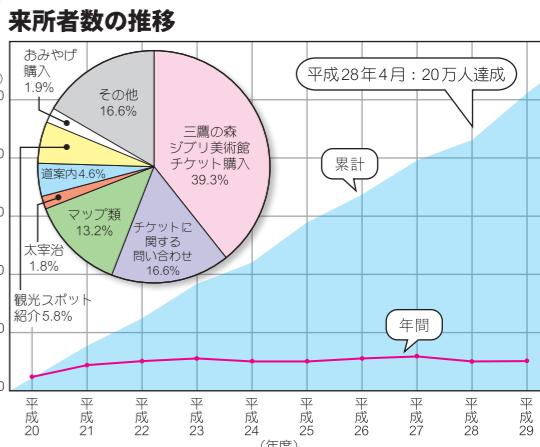
大金 直樹
東京フットボールクラブ株式会社
代表取締役社長

三鷹の魅力を発信

みたか観光案内所に集約された観光情報を広くPRしています。また、市民・学生との協働による効果的な情報発信を推進することで訴求力の高い観光資源のイメージを活用した三鷹への観光客の誘致を目指しています。

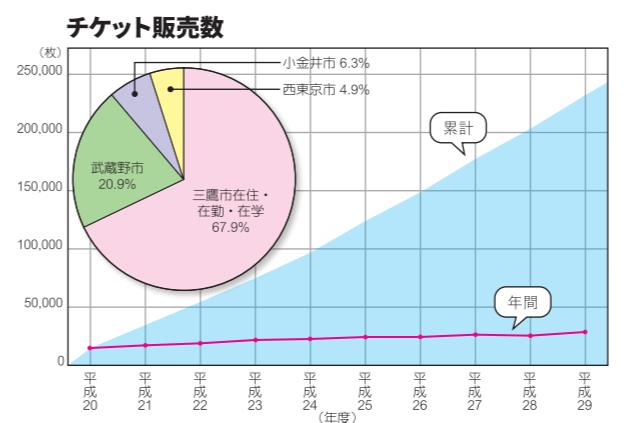
1 来所者へのおもてなし

みたか散策マップをはじめとする各種マップや観光関連施設パンフレットの配布を通して、三鷹の魅力ある観光スポットを紹介しています。各団体等が主催するイベントのお知らせなどのお役立ち情報も協会ホームページやSNSを活用して、最新情報の発信を心掛けています。今後は、「ラグビーワールドカップ2019」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」などの世界的イベントの開催も控えています。三鷹市にも外国人を含めた多くの観光客の来訪が期待されることから、さらなる「おもてなし」を展開します。



2 三鷹の森ジブリ美術館 三鷹市・近隣市民チケット販売

三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)は、日本を中心に世界各地から年間約65万人が訪れ、多くの観光客を迎えている人気観光スポットです。この美術館が地域の方々から親しまれ、身近に感じてもらえる存在になってもらえることを目指して、近隣地域の方(三鷹市、武蔵野市、小金井市、西東京市に在住・在勤・在学※平成30年11月時点)を対象に、三鷹市・近隣市民枠として、チケットを販売しています。



3 「TAKA-1(タカワン)<みたかセレクトONE>」をはじめとする、三鷹の逸品の紹介・お土産販売

「TAKA-1(みたかセレクトONE)」は三鷹の魅力的な商品や市民に知られていない逸品を認定し、広く市内外に周知していくことを目的とした事業です。観光案内所では、「TAKA-1認定商品」を、三鷹を代表する商品として、広くPRするとともに、案内所にて受託販売しています。また、三鷹にはキウイフルーツやキウイワインなど高い知名度を誇る特産品があります。今後は、こうした特産品をさらに発展させ、認知度向上を図り、三鷹ブランドの強化を推進ていきたいと考えています。

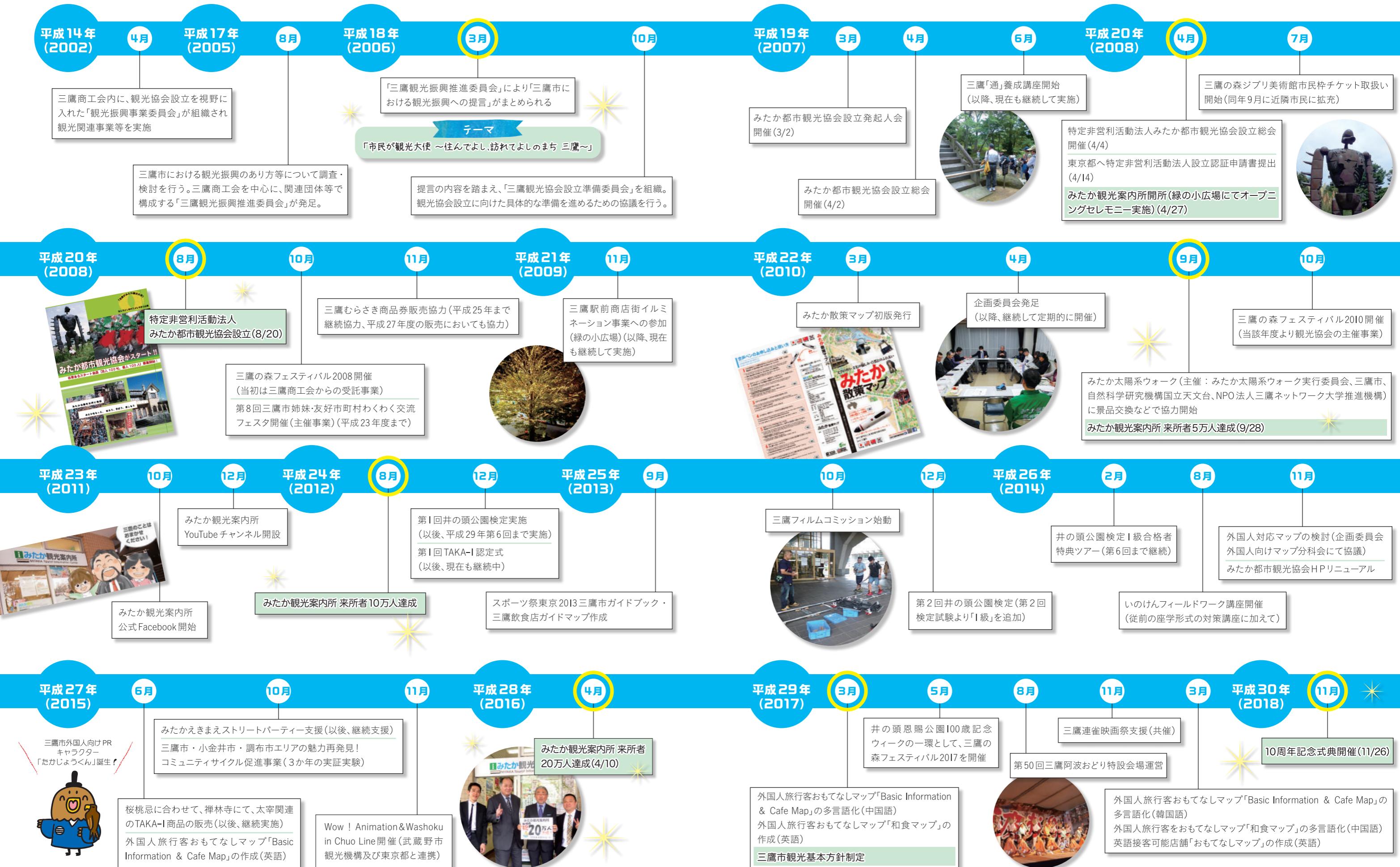


4 情報収集・発信

- 協会HP、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)、web媒体等への情報提供
- 三鷹「通」養成講座開催
- みたか散策マップ、外国人向けマップ等の作成配布



みたか都市観光協会10年のあゆみ



三鷹「通」養成講座

三鷹の「知られざる」観光資源に光をあて、三鷹の「通」になってもらう事業

三鷹「通」養成講座は、市民に三鷹の歴史・文学・自然・産業等、観光資源・地域資源の情報を提供することを目的とし、平成19年度から継続実施しています。

実施に当たっては三鷹ネットワーク大学推進機構と連携し、みたか都市観光協会からの寄付講座という形式で実施しています。実施回数は年3回程度であり、座学、フィールドワーク、連続講義など講座内容も多様です。

なお、同養成講座は、「市民主導」で三鷹の地域資源・歴史・文化に触れあうことを目的としていることから、企画趣旨、見学場所、講座内容などについては、当協会が定期的に開催している「企画委員会」からのアイデアや意見をもとに具体化しています。



井の頭公園検定1級合格者がガイドする
井の頭公園の魅力

三鷹「通」養成講座 履歴

平成19年	①基礎編(全3回)……三鷹で楽しむ自然観察、三鷹の歴史・文学／@三鷹ネットワーク大学 ②初級編(全8回)……歴史、自然、文学／@三鷹ネットワーク大学
平成20年	大沢の里編(全6回)／@三鷹ネットワーク大学、武蔵野(野川流域)の水車経営農家、国立天文台
平成21年	4月2日空襲と、わがまちの戦争遺跡をめぐる(全2回) ／@三鷹ネットワーク大学、大沢総合グランド、武蔵野の森公園、泰山荘書院と高風居、国際基督教大学本館
平成22年	①三鷹の工業はすごい!市内の有名企業を見学して、更に「通」になろう／@日本無線株式会社三鷹製作所 ②わがまちの戦争遺跡をめぐる2(全2回)／@三鷹ネットワーク大学、武蔵野市内
平成23年	三鷹の工業はすごい! 2市内の有名企業を見学して、更に「通」になろう／@三鷹光器株式会社
平成24年	三鷹の農業はすごい!～ナス名人星野さんに聞く!～／@星野農園
平成25年	①三鷹の農業はすごい! 2果樹園に行こう! キウイ農家、島田果樹園さんを訪ねて／@島田果樹園 ②日本無線株式会社三鷹製作所見学／@日本無線株式会社三鷹製作所
平成26年	①ごみ処理の現場を見に行こう!～私たちのごみはどう処理されているの?～／@クリーンプラザふじみ他 ②神田川をたどる日帰り旅～江戸の生活を支えた上水の面影を訪ねて～(全2回) ／@第1回：井の頭公園～江戸川公園 第2回：飯田橋駅～両国駅
平成27年	①神田川をたどる日帰り旅～江戸の生活を支えた上水の面影を訪ねて～／@東京駅～深川地区 ②戦後70年、わがまち三鷹の戦争遺跡をめぐる～大沢地区の戦争遺跡をめぐり、平和について考える～ ／@大沢コミュニティ・センター～武蔵野の森公園
平成28年	①JR三鷹車両センター見学／@JR三鷹車両センター ②井の頭公園検定1級合格者がガイドする井の頭公園の魅力／@井の頭地区公会堂、井の頭恩賜公園 ③杏林大学生と巡る、杏林大学井の頭キャンパス／@杏林大学井の頭キャンパス
平成29年	①JR三鷹車両センター見学／@JR三鷹車両センター ②井の頭公園検定1級合格者がガイドする井の頭公園の魅力／@井の頭地区公会堂、井の頭恩賜公園 ③ルーテル学院大学キャンパスツアー／@ルーテル学院大学



JR三鷹車両センター見学



島田果樹園を訪ねて



ルーテル学院大学キャンパスツアー

「三鷹の森」と「三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)」の魅力を伝える音楽イベント

～三鷹の森からハーモニー～

三鷹の森フェスティバルは、三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)の開館を機に始まった音楽フェスティバルです。

平成13年に三鷹商工会内の観光振興事業委員会が実行委員会を立ち上げ、当該実行委員会が中心となって、市民をはじめとした来場者に「井の頭恩賜公園」や「三鷹の森ジブリ美術館」周辺の施設・文化・自然を再発見する場を提供し、地域の活性化を図ることを目的としてスタートしました。

みたか都市観光協会発足当時の平成20年10月に開催された「三鷹の森フェスティバル2008」は三鷹商工会からの受託事業でしたが、三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)が観光振興の中核として位置づけられていることから、平成22年度から、みたか都市観光協会が主催、三鷹市と三鷹の森ジブリ美術館が共催、三鷹市教育委員会、三鷹商工会、株式会社まちづくり三鷹が後援という実施体制に刷新しました。

例年5,000人から7,000人を集客し、ゆったりと音楽に耳を傾けることができるイベントとして、市民に定着しています。

平成29年には、都立井の頭恩賜公園が、同年5月1日に開園100周年を迎えることから、「未来へつなごう、100年の想い」をテーマのもと、5月1日からのゴールデンウィークの1週間を「100歳記念ウィーク」として位置づけました。

「三鷹の森フェスティバル2017」も例年、井の頭恩賜公園内で実施していることから、趣旨に賛同し、100歳記念ウィークの1イベントとして、従前の時期(10月)を変更し、5月5日に開催しました。

今後も、井の頭恩賜公園西園文化交流広場の「三鷹の森」や「三鷹の森ジブリ美術館」のイメージにふさわしい音楽フェスティバルを継続的に実施することによって、まちの賑わいを創出するとともに、地域愛の醸成に努めていきたいと考えています。



Photography by UKOARA

飲食やアートブースも充実



Photography by UKOARA

大人も子どもも楽しめる自然観察会



Photography by NACOT



2017年：井の頭公園100歳記念ウィークに合わせて開催



三鷹の森フェスティバル

TAKA-1(タカワン)<みたかセレクトONE>



三鷹の「おみやげ」発掘

～三鷹発地域ブランドの構築と市内産業の活性化を目指して～

TAKA-1(タカワン)<みたかセレクトONE>事業は、三鷹市、東京むさし農業協同組合 三鷹支店、三鷹市商店会連合会、株式会社ジェイコム武蔵野三鷹の後援や、特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク、特定非営利活動法人子育てコンビニの協力をいただきながら、三鷹商工会、株式会社まちづくり三鷹、みたか都市観光協会の3団体が事務局となりTAKA-1認定・サポート委員会が実施している協働事業です。

平成25年度に開催された「スポーツ祭東京2013」を見据え、三鷹の魅力的な商品や市民に知られていない逸品を広く内外に周知するため、平成24年度に、三鷹のお土産としてふさわしい商品を発掘する「TAKA-1(タカワン)」事業をスタートさせました。



審査会の様子

TAKA-1認定商品は、TAKA-1認定・サポート委員会が市民投票の結果を考慮した上で、最終審査会を行い決定します。認定された商品は、目印として「TAKA-1」認定シールを貼付し、三鷹のブランドの目印として、皆さまから永く愛されるものとなるよう取り組んでいます。

今後も、三鷹の魅力的な商品等をTAKA-1として認定し、市内の関係機関が力をあわせて応援することで三鷹ブランド力の強化を目指しています。

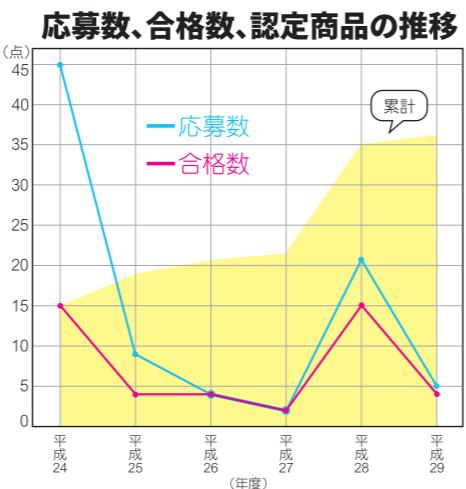


これまで認定されてきた商品の数々
(現在、販売終了している商品もあります)

お歳暮・お中元に
自分へのご褒美に
訪問の際の手土産に



Designed by FRANFUL



井の頭公園検定(通称：いのけん)

～井の頭公園検定は井の頭恩賜公園の奥深い魅力の再発見～



「いのけん」のテキスト

井の頭公園検定(「いのけん」)は、平成24年の井の頭自然文化園開園70周年と平成29年の井の頭恩賜公園開園100周年の周年記念事業として、広く市内外の方々に、井の頭公園の様々な魅力を再発見していただくことを目的としてスタートした検定試験です。

井の頭自然文化園開園の70周年にあたる平成24年度に第1回を開催し、井の頭恩賜公園開園100周年にあたる平成29年度の第6回まで実施しました(現在、検定試験は終了)。

みたか都市観光協会は、東京都西部公園緑地事務所、東京都井の頭自然文化園、一般社団法人武蔵野市観光機構とともに、井の頭公園検定実行委員会の主催構成団体として、井の頭公園検定のための公式問題解説集の出版、いのけん講座の開催、試験実施、合格者発表、1級合格者向け特典ツアーや事業実施全般に携わりました。

今後は、本公園検定を契機として、公園を中心とした人々の交流が促進され、自然観察団体やアートマーケットなどの活動を軸としたコミュニティの醸成と新たな活動が生まれることを期待しています。

受験者数及び合格者数の推移

	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			総合計
	1級	3・2級	合計	1級	3・2級	合計	1級	3・2級	合計										
受験者数	391	391	83	85	168	23	90	113	15	95	110	19	84	103	45	93	138	185	838 1,023
受験者数：男性	215		45	51	96	11	51	62	12	59	71	15	52	67	31	58	89	114	486 600
受験者数：女性	176		38	34	72	12	39	51	3	36	39	4	32	36	14	35	49	71	352 423
三鷹・武蔵野市民	271		57	50	107	16	43	59	11	37	48	10	32	42	23	46	69	117	479 596
その他地域	120		26	35	61	7	47	54	4	58	62	9	52	61	22	47	69	68	359 427
合格者数	382	382	10	84	94	3	88	91	6	87	93	4	80	84	3	91	94	26	812 838
合格率	97.7%	97.7%	12.0%	98.8%	56.0%	13.0%	97.8%	80.5%	40.0%	91.6%	84.5%	21.1%	95.2%	81.6%	6.7%	97.8%	68.1%	14.1%	96.9% 81.9%

その他地域：山口県、大阪府、静岡県、宮崎県、愛知県、福岡県等



1級合格者特典ツアーでは、自然文化園のバックヤードも見学

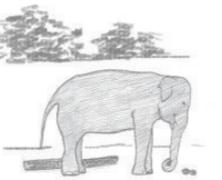


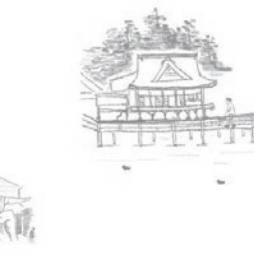
Illustration by BUNSHIN & Naoko Kitamura



「いのけん」講座フィールドワーク



試験の様子



井の頭公園検定 13

三鷹フィルムコミッショナ

人財育成

三鷹市がドラマ、映画の舞台になることで、まちがどんどん元気に

～「三鷹のまち」のメディアへの露出頻度を増やすことで、市民や全国の方々に紹介し、三鷹のファンを増やしていきたい～

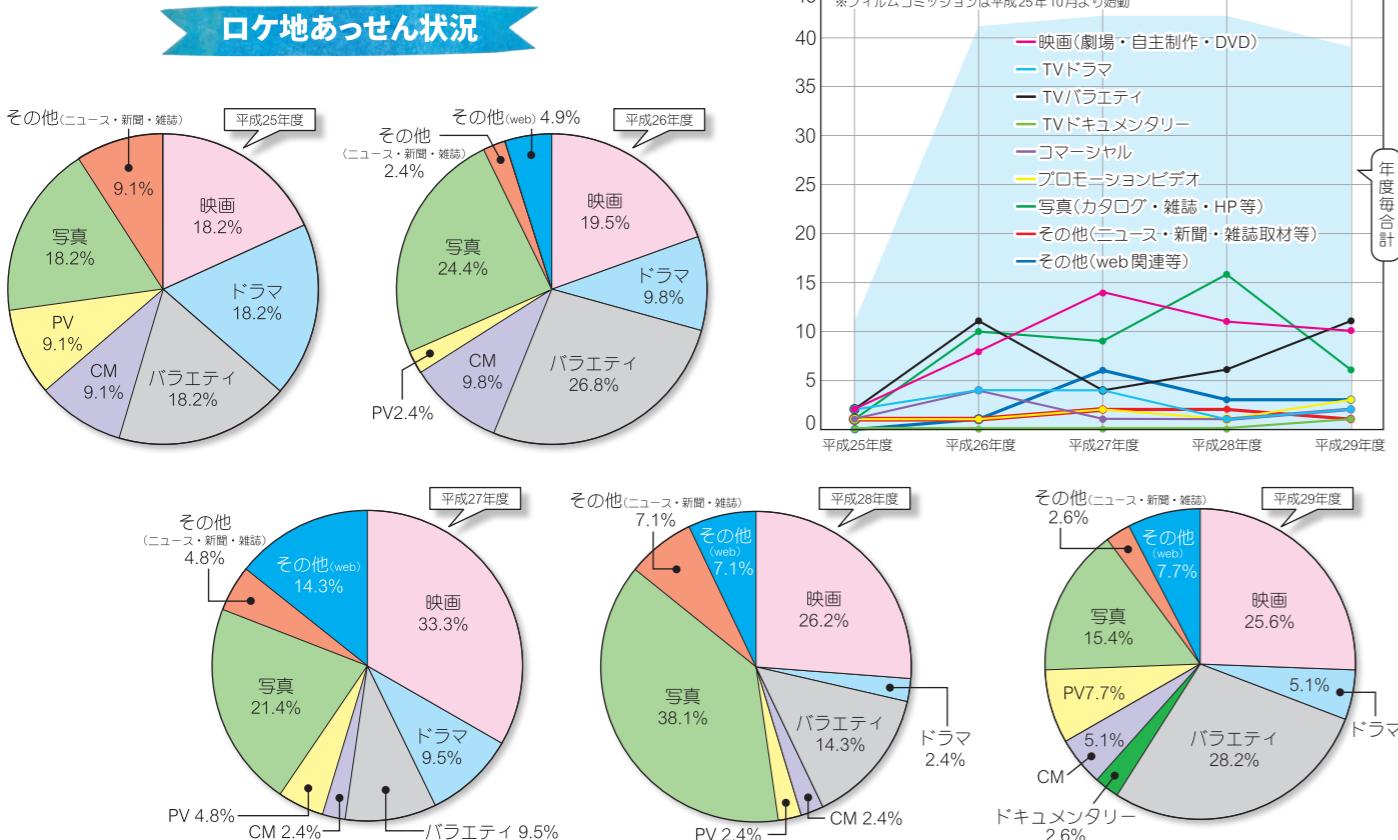
フィルムコミッショナ(FC)は、撮影者の相談窓口となり、施設所有者との交渉、申請、立会などをワンストップで行うとともに、ロケ撮影受入施設の登録・公開、撮影実績の情報発信・活用などを、市民や関係団体の皆様と連携しながら行なうことで、シティセールス効果(三鷹市の知名度・好感度向上)、市民の郷土愛の醸成(市民参加による市の魅力の再発見や、魅力創造の促進)、まちの賑わい創造などを促進し、まちの活性化を目指すものです。



協力：株式会社文伸
<主なロケ地>
・三鷹市山本有三記念館 みたか井心亭 風の散歩道
・市民センター 三鷹市環境センター
・仙川公園 井の頭恩賜公園 など

みたか都市観光協会では、平成24年度から、勉強会や、内部会議を通して検討を加え、平成25年10月25日に「三鷹フィルムコミッショナ」をみたか都市観光協会内に設置しました。また、平成26年11月には、協会ホームページの更新の際に、新たにフィルムコミッショナのホームページを開設しました。

今後は、三鷹の名所、名物、イベント・市民活動等のメディアへの露出頻度を上げるために積極的なPRをするとともに、ロケの二次利用の推進、ロケ地マップの作成、エキストラ等市民参加の受入促進、撮影風景写真の掲示などを通して、「映像」による地域活性化を進めていたきたいと考えています。



相談・コーディネート機能の充実による担い手づくりの推進と
まちの語り部、案内役としてのボランティア団体への支援

新たな魅力の創出や事業の継続的な推進のためには、市民、関係団体、大学などとの連携に基づき、観光の担い手となる人財を継続的に発掘・育成していくことが必要です。

現在、みたか都市観光協会では、市内を案内するボランティア団体である「みたか観光ガイド協会」や井の頭公園検定一級合格者の会「チームあか井の」など、協会と目標や思いを共有できる団体の活動費の一部を支援していますが、将来にわたって、常に新しい観光資源やまちの魅力を生み出していくためには、市民や事業者が交流し、新たな事業を創出していくための場の提供や主体者同士の連携を支援していくことが重要です。

みたか観光ガイド協会

すべてのガイドを集計すると
2018年8月までに880回の
ガイドをし、1万7千人をご案内！

定例ガイド

第1回 平成11(1999)年8月に始まった定例ガイドは平成30年10月28日までにべ3,384名の方が参加。

毎月第4日曜日(12~2月は厳寒期につきお休み)
参加費無料／予約不要／雨天決行／途中トイレ休憩あり



「定例ガイド」以外に「予約ガイド」のコースもあります

- 太宰治の足跡を訪ねるコース(定例ガイドと同じコース)
- 大沢コース
- 井の頭コース



幸い、三鷹では、三鷹阿波おどり、三鷹国際交流フェスティバル、みたかえきまえストリートパーティー、三鷹連雀映画祭、三鷹コミュニティシネマ映画祭など、関係団体、市民、事業者が連携している市民参画のイベントや事業が数多く実施されています。このような機会をどうえつつ、加えて、何かを始めたい市民・事業者の相談窓口機能や各団体の事業の調整などのコーディネート機能を充実させることで、新たな化学反応が生まれるよう支援ていきます。

グループ名は、いのけん1級合格者がもらえる
「あかいバッジ」と「井の頭」の二つの名前を
合わせたものから由来しています。

チームあか井の

井の頭公園検定(いのけん)1級合格者の有志18名で活動。
平成30(2018)年8月に、井の頭恩賜公園定点ガイドを開始。

毎月第4日曜日14時～
参加費無料／予約不要／雨天中止



市民、事業者、関連団体と連携して、事業実施に向けた支援を行うことで、交流の場の提供などを行い、民学産公の協働の取り組みを推進していきます。主な連携事業は以下のとおりです。



都市農業を育てる
市民のつどい



みたか商工まつりでの
TAKA-1市民投票



三鷹産業プラザ
まるごと夏まつり



みたか太陽系ウォーク



16 連携事業 太陽系

【共催】

三鷹連雀映画祭(三鷹シネマ俱楽部)



【後援】

三鷹まちづくりフォトコンテスト
都市農業を育てる市民のつどい

三鷹コミュニティシネマ35mmフィルムワンコイン上映会

みたかえきまえストリートパーティー

三鷹市農業祭

三鷹市民駅伝大会

【協賛】

みたか商工まつり

三鷹阿波おどり

三鷹阿波おどり写真コンクール



【協力】

三鷹産業プラザまるごと夏まつり

三鷹国際交流フェスティバル

みたか太陽系ウォーク

みたか市民活動・NPOフォーラム

SOHOフェスタin MITAKA

三鷹の森アニメフェスタ



井の頭恩賜公園
100歳記念ウィーク

【委員派遣等】

三鷹市地域情報化推進協議会

三鷹中心市街地活性化推進協議会

特定非営利活動法人花と緑のまち三鷹創造協会(理事)

三鷹市買物支援事業本部

井の頭公園100年実行委員会(役員、賑わい部会、100祭部会)

TAKA-1認定・サポート委員会

三鷹阿波踊り振興会実行委員会(幹事)

みたか太陽系ウォーク実行委員会

インディーズアニメフェスタ実行委員会 など



インディーズアニメフェスタ

10周年によせて

三鷹の観光推進を担って、NPO法人みたか都市観光協会が設立10周年を迎えたことは、ともに観光事業に携わってきた、みたか観光ガイド協会としても、感慨深いものがあります。

私たち「みたか観光ガイド協会」も市民ガイドを名乗って、三鷹のガイドを始めて19年になります。特に「太宰が生きたまち 三鷹」は大変な人気で、近郊各県から「太宰治ゆかりの地定例ガイド」に参加されています。すべてのガイドを集計しますと、この8月までに880回のガイドをして1万7千人を案内してきました。

この間、みたか都市観光協会との関わりで特筆すべきこと2点について申し上げます。

第一は、2017年(平成29年)に開園100周年を迎えた、井の頭恩賜公園を記念する事業のひとつ「井の頭公園検定」でした。2012年(平成24年)から6回に亘って試験会場の運営の一端を担ってきたことです。そして検定試験一級合格者の有志で「あか井の」と名づけた「井の頭恩賜公園ガイド」が誕生したことです。

新しいガイド団体が誕生し、みたか観光ガイド協会と連携して三鷹を訪れる皆さんにより楽しんでいただけるガイドができるることは、大変ありがたいことです。

第二は、みたか都市観光協会が実施する事業や市民・団体が主体的に取り組む事業の企画実施について支援する「企画委員会」の活動です。みたか観光ガイド協会も一員として「市民が観光大使～住んでよし訪れてよしのまち 三鷹～」を目指して活動しています。まず市民が三鷹を知ることで「三鷹通」になることが大事であると考え、市民企画の三鷹「通」養成講座を実施してきました。例えば三鷹の工業・農業の現場や研究施設の見学などです。特に教育機関の大学見学、三鷹車両センターの見学は人気があり、ここ数年継続実施となっています。

今後もみたか都市観光協会と連携し、みたか観光ガイド協会は次の10年に向けて「市民が観光大使」の実践に取り組んでまいります。

10年のあゆみを振りかえって



小谷野 芳文

みたか観光ガイド協会 代表
NPO法人みたか都市観光協会 理事
みたか観光企画委員会 委員長



みたか都市観光協会の周知と市民協働を目的として
記念事業を企画実施いたします

- ①みたか都市観光協会10周年記念誌の作成
- ②みたか都市観光協会10周年記念式典の開催(平成30年11月26日)
- ③デジタルスタンプラリー
「お宝発見!ミタカをミタカ」
- ④三鷹の魅力発信!ブログツアーアップ
- ⑤もしもじ色づく秋夜に浮かぶ洋館
「三鷹市山本有三記念館」ライトアップ
- ⑥記念ノベルティグッズの開発



Anniversary
MITAKA-City Tourism Association

10年のあゆみを振りかえって 17

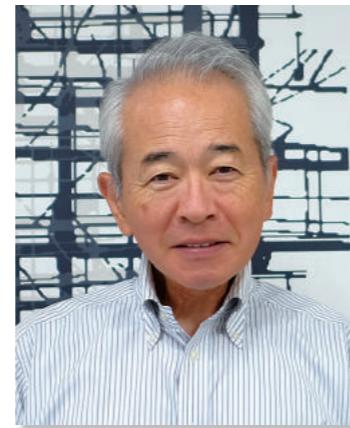
10年のあゆみを振りかえって

企画委員会は『市民が観光大使』のプラットフォームになった

NPO法人みたか都市観光協会(以下観光協会)は、実に恵まれてスタートした。最初の5年間は意欲ある事務局長と献身的ともいえる事務局員が奮闘してくれた。その間、試行錯誤しながら活動を始めたのが企画委員会である。これが化けた。ゆるやかな観光という切り口で多種多様な人が集まり、情報発信と収集の場になった。設立趣意書に記された『市民が観光大使』を実践するプラットフォームができた。ここが元気だと三鷹の観光は面白くなる。この10年の最大のヒットかもしれない。

もうひとつ、井の頭公園検定(以下「いのけん」)の開催もあった。この検定は、2017年5月に井の頭公園が開園100周年になることを記念して、公園の歴史や生きものなど、その魅力や課題を学ぶ目的で、2012年度から100周年まで6回行われ、延べ1,023人が受験した。このいのけんの功績は2つある。ひとつは、公園が三鷹市と武蔵野市にまたがっているため、両市の観光協会が協力して実行委員会の中核を担ったこと、併せて公園を管理する東京都西部公園緑地事務所と東京都井の頭自然文化園との協働を得たことである。もうひとつは、いのけん1級合格者が「あか井の」というチームを作り、公園のセミナーやガイドを始めたことである。いのけんから公園の魅力を伝える伝道師が誕生したのである。

このように観光協会の10年の歩みを振りかえってみると、企画委員会のおかげで様々な面白いことができる団体になった。すでに始まっている、近隣の観光協会との交流や連携において、三鷹の企画委員会方式が刺激となればいい。三鷹の観光協会が武蔵野エリアの観光をリードし、さらに面白く魅力のあるエリアにしていくことが次の10年の課題であり楽しみだと思っている。



川井 信良

株式会社文伸 社長
NPO法人みたか都市観光協会 理事

次の10年は世界に向けて!

10年という年月が瞬く間に過ぎたようなそんな気がしますが、「みたか都市観光協会」は10歳のお誕生日なのですね。今では懐かしい立ち上げ実行委員会に出席させていただいたご縁で、最初のHPを子育てコンビニで作成させていただきました。今でも、会員が地域の細かな情報発信のお手伝いをさせていただいている。フィルムコミッションのページも充実して、これからもますます三鷹の良さを、三鷹が大好きな市民の手によって発信されていくことを願っています。

ジブリ美術館を訪ねてくる沢山の外国人、オリンピックを前にもっともっと増えていくことでしょう。

国際都市東京郊外の小さな街三鷹、「市民が観光大使」の初心を忘れず、世界に向けて情報発信の場所になれるよう、次の10年に向かって進んで行かれますようにお祈りしています。おめでとうございます！



小林 七子

NPO法人子育てコンビニ 代表
NPO法人みたか都市観光協会 会員



協同組合
三鷹中央通り商店会

NPO法人みたか都市観光協会 会員

設立10周年おめでとうございます。

いつも私たち商店会の店舗情報やM-マルシェなどの商店会事業を周知してくださり本当に有難うございます。観光協会という名のとおり、市外、国外から訪れたお客様の最初の入口、道しるべとなっていることはもちろん、三鷹の魅力の再発見や、新たな資源を作り出す重要な種まきも担ってくださっていることに、改めて感謝申し上げます。

これからも引き続き三鷹らしい素敵なおれこれ、訪れる皆さん、そこに暮らす皆さんに届けてくださいますよう、みたか都市観光協会スタッフ、関係する皆様の益々のご活躍を祈念しております。



「第10回みたか太陽系ウォーカスタンプラリー「お宝発見!ニタカをミタカ」」
第10回みたか太陽系ウォーカスタンプラリーのプラットフォームを活用したコラボ企画。スマートフォンアプリを利用したデジタルスタンプラリーを実施し、観光協会特別コースとして市内24カ所の観光資源を紹介。

実施期間：平成30(2018)年9月21日～10月28日まで
協力：エム・ティ・プランニング株式会社／株式会社スイッチスマイル

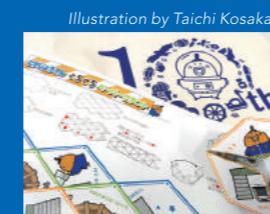


Illustration by Taichi Kosaka



Photography by UKOARA

三鷹にゆかりのある人気ブロガーが、独自の視点で三鷹の魅力をたっぷりと発信。
取材内容：①「第51回三鷹阿波おどり」
平成30(2018)年 8月19日
②「三鷹の森フェスティバル2018」
平成30(2018)年10月21日
③「山本有三記念館ライトアップ」
平成30(2018)年11月24日,12月28日
④「太宰治ゆかりの地巡り」
平成30(2018)年12月5日

UKOARA(ゆーこあら)
「ゆーこあらの旅の記録」<http://ukoara.com/>



風の散歩道沿いにたたずむ
「三鷹市山本有三記念館」の
紅葉を期間限定でライトアップ。
道行く皆様に楽しんでいただき
魅力を再確認。

実施期間：平成30(2018)年11月23日
～平成31(2019)年1月23日まで



10年のあゆみを振りかえって

設立10周年を祝して

NPO法人みたか都市観光協会設立10周年を心よりお祝い申し上げます。

弊社は、2000年より三鷹市でビジネスサポート会社として営業を開始しておりますが、2006年三鷹市が世界一の情報都市としてグランプリに輝いたことをきっかけに、オリジナル焼菓子「東京セブレ(フランス語で真実の)」を企画販売しております。貴協会とは、この東京セブレをみたか観光案内所にて販売していただくことになりました時からのご縁です。今でも三鷹のお土産TAKA-1商品として、販売していただいております。

また2012年より井の頭恩賜公園100歳の誕生日を記念し開催された井の頭公園検定でも微力ではございますが、ご協力させていただきました。

顧みますと歴代事務局長はじめ職員の皆様には大変お世話になり、感謝の念に堪えません。

観光とは光を觀ると書きますが、貴協会はこれまで三鷹の数々の魅力ある光に更なる輝きをもたらすため、ひたすら支え、育んでこられました。どうぞ今後も三鷹が光に満ちた場所でありますようご尽力お願いいいたします。

結びに、貴協会のますますのご発展とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

この度は10周年を迎えてられましたこと心からお祝い申し上げます。

思い返せば5年前、観光協会との出会いが、私がまちと関わるようになったきっかけでした。その出会いがなければ私は今もこのまちで「ただ住んでいるだけ」だったのではないかと思います。

そんな私がクリエイターとしてまちをモティーフに何かできないかと考え、当時の事務局長に相談にのっていただきながら完成したのが「みたカルタ」です。以降「ものづくり」を軸に様々なまちとの関わりの機会をいただけるようになり、そこから出たたくさんのアイデアの中から具体化されたものが外国人観光客向けの情報マップとおもてなしキャラクター「たかじょうくん」です。

このように市民と一緒にまちに寄り添って何かを生み出していくスタイルは観光協会ならではだと思います。これからもこのまちの「おもしろ発信基地」として、楽しみながら歴史を更新していくください。応援しています!



森下 ことみ
永澤 のり子

有限会社そーはっと
NPO法人みたか都市観光協会 会員



小坂 タイチ

NPO法人みたか都市観光協会 会員
みたか観光企画委員

NPO法人化10周年、おめでとうございます。

野川・仙川流域の豊かな自然に恵まれた三鷹には、井の頭恩賜公園、国立天文台、三鷹の森ジブリ美術館をはじめとする施設に加え、阿波踊りや三鷹まるごと絵本市、M-マルシェといった市民活動が生み出すイベントも多く、さまざまな観光資源を有しています。そんな魅力的な観光情報を、一方的に発信するのではなく、三鷹市が掲げる「協働」の理念にそって、「三鷹を愛する多くの市民にも参加していただき、一緒に三鷹の魅力を発信していく」サイトにしていく」ということで、みたか都市観光協会のポータルサイトを作らせていただきました。

多くの情報をリアルタイムに発信していくためには、さまざまな局面で市民ボランティアが関わる仕組みづくりが必要です。技術的にはWebサイト操作技術に詳しくないどなたでも簡単に記事投稿ができるCMSを採用しました。そして、サイト制作をきっかけに自分たちも地域のイベントに参加し、関わって行こうと思うようになりました。お陰さまで、このサイトをきっかけに多くの方々と繋がることができて、三鷹での生活がより豊かになりました。このポータルサイトが、これからも三鷹の観光情報発信の一役を担い、観光協会とともに三鷹の街を盛り上げていければと願っています。



山田 律子

株式会社ヴィプラント 代表取締役
みたか観光企画委員

「〇〇の立場」をこえて

私が企画委員会と出会ったのは4年ほど前、地域活動団体に携わる一市民としてでした。初参加時、企業や事業主、団体や行政、個人のクリエイターまで、実に多様な方々が自由に集うスタイルに感銘を受けたものです。

その後、この会でのご縁もあって市内の企業人となり、今では市民活動の立場、企業の立場の両面で参加しています。

この間、三鷹「通」養成講座として、杏林大学とルーテル学院大学への「大人のキャンパスツアー」企画の実現の機会を教えていただきました。その準備の際、仕事でも地域活動でもお付き合いのある大学の方と打ち合わせをする中で、複数の立場の自分が重なり合う、なんとも不思議な感覚を味わいました。

そんな、「〇〇の立場」をこえた視点に出会えるこの会に心から感謝しつつ、企業や商店、大学や団体など、地域の様々な主体を結ぶため、少しでもお役に立ちたいと願う次第です。



米川 充

みたか観光企画委員会 副委員長

10年のあゆみを振りかえって

NPO法人化10周年、おめでとうございます。

私とみたか都市観光協会のおつきあいは2006年の冬に、初めて携わらせていただいた翌年3月開催の「三鷹の森アニメフェスタ」のポスターのデザインからでした。その後、観光協会がNPO法人化を果たし、東京都のアニメシティ事業とも重なったこともあって、三鷹市芸術文化センターのB1階の創作展示室を使ったアニメ展示の企画や東京国際アニメフェアのパネル展示を担当いたしました。

また、三鷹フィルムコミッショングがスタートし、Webサイトを制作、歴代4人の事務局長のもとで、「映像コンテンツ産業による観光創出地域活性化」事業に関わらせていただいている。事業名は何やら難しいそうな名称ですが、要は「アニメや映画で三鷹の街をもっと盛り上げていこう」という活動です。

そんな流れから、昨年は市民有志で三鷹市内3ヶ所の会場をお借りして4日間で22作品を上映する「第1回三鷹連雀映画祭」を開催し、多くの方に足を運んでいただきました。これからも、観光協会と企画委員会の皆さんと共に、様々なかたちで楽しく三鷹の街を盛り上げていきたいと思います。

三鷹と映画と映画館

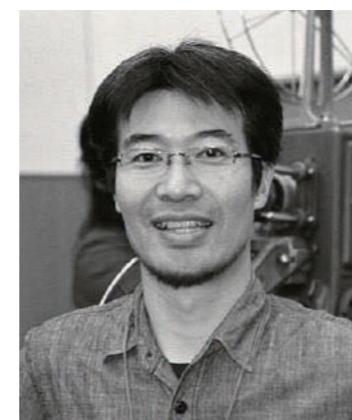
三鷹市には、1990年に三鷹オスカーが閉館して以来、現在、映画館がありません。全国各地では、映画館が次々と閉館し続けています。三鷹市にまた映画館ができることを思い描いても、なかなかそこにはたどり着けない現実があります。しかし、映画は作られ続けています。むしろ、技術の進歩などにより、映画作りが容易になったことで、その本数は増え続けています。

そんな中、映画をはじめとする様々なメディアに三鷹の風景や街の魅力を登場させ、地域を活性化していくことを目指し、2013年に誕生した三鷹フィルムコミッション。映画館がなかなかできないのなら、映画作りの手助けをしながら地域を盛り上げていけば、いつか映画がたくさん撮られている街としてのイメージが定着したころには、映画館ができる気運が高まっているかもしれません。それは決して、遠回りではないはずです。



山田 浩之

みたか観光企画委員



神原 健太朗

みたか観光企画委員

NPO法人化10周年おめでとうございます。

井の頭公園検定(通称：いのけん)一級合格者で、井の頭公園をこよなく愛し、その魅力を少しでも多くの人に伝えていきたい、と思う仲間が集まって2015年に「あか井の」を結成しました(グループ名はバッジの色「あか」、井の頭公園「井の」から「あか井の」)。

井の頭公園で開催された各種イベントで公園クイズや公園ガイドを実施したり、観光協会主催の三鷹「通」養成講座で井の頭公園案内の座学+散策ガイドなどを行ってきました。

もっと多くの人に井の頭公園の魅力を知ってもらい、環境を良くしたいという「いのけん」開催の趣旨を何とか継続したい、という気持ちから今回、実際に井の頭公園でPARK GUIDEののぼりを目印に定期的(月一回)に井の頭公園についてのガイドを始めました。この活動により、井の頭公園の魅力を盛り上げてまいります。

三鷹と武蔵野の宝物

およそ360年前の昔、時を同じくしてこの土地に移り住んできた三鷹と武蔵野の人々。街並みこそすっかり変わってしまいましたが、その風土や文化、根付いた心は同じものを持っているのではないでしょうか。

両市の大きな財産である井の頭恩賜公園・史跡玉川上水を始め、武者小路実篤氏らの多くの著名人も両市にまたがって暮らしていたようです。古くから様々な共通点を持つ三鷹市と武蔵野市は、観光や歴史、文化等の面でも今まで以上に交流を深め、連携していくことで地域の発展、活性化、文化的財産をより活かすことができると感じます。

また、JR三鷹駅は駅を挟んで2つの市が南北に振り分けられる面白い構造になっており、その利点を生かした観光や商業的な連携も展開できれば、より魅力的な街になっていきそうです。三鷹市と武蔵野市の共通の財産を生かしていく今後の取り組みに期待し、これからも応援していきたいです。



渡邊 安浩

チーム「あか井の」代表
みたか観光企画委員



小松 由美

みたか観光企画委員

10周年記念誌 編集後記

特定非営利活動法人みたか都市観光協会設立10周年の節目の年を迎え、無事に記念誌を発行することができました。今回の記念誌作成にあたり、準備、企画から編集、制作まで当協会スタッフが手作りで行いましたので、種々困難もありましたが、この度ようやく発刊にこぎつけることができましたことを感謝いたします。同時に当協会の今までの足跡を皆様にお伝えする役目を担えたことに大変光栄に存じます。

今後も「市民が観光大使へ住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」の観光推進基本理念のもと、市民の皆様と一緒に、三鷹市の魅力を発信していきたいと思いますので、引き続き、皆様方のご支援をよろしくお願ひいたします。最後に当記念誌の編集にあたり、ご多用の中、原稿をお寄せいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

平成30年11月 特定非営利活動法人みたか都市観光協会スタッフ一同

みたか都市 観光協会 | MITAKA-City Tourism Association

181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル101

TEL : 0422-40-5525

FAX : 0422-40-5526

営業時間：9時～18時まで

定休日：火曜日・年末年始

2018年11月発行

発行元：特定非営利活動法人みたか都市観光協会

